5765-70316B

CARMATE



RV-INNO

IN 380 サイクルアタッチメントフォークロック2 取扱説明書

は じ め に

このたびは、カーメイト RV-INNO システムキャリアをお買い上げいただきましてありがとうございます。本品はサイクルを積載するための RV-INNOシステムキャリア用アタッチメントです。この取扱説明書にはサイクルアタッチメントフォークロック 2の取付・使用方法が記載されています。

この取扱説明書をよく読んで理解してから本品を使用し、記載事項全てを必ず守ってください。
この取扱説明書は、必要なときにいつでも読めるよう、できる限り身近に大切に保管してください。

本品をゆずられる場合は、次に使用される方のために本書も併せてお渡しください。
また、本書をお読みになられた上で、ご不明な点がございましたら、本書記載（P16参照）のサービスセンターにお問合せください。

目 次

安全にお使いいただくために

本書に記載する記号について

本書では、特に重要な事項や知っておいていただきたいことを、記号を用いて説明しております。それぞれの記号とその内容は次のとおりです。

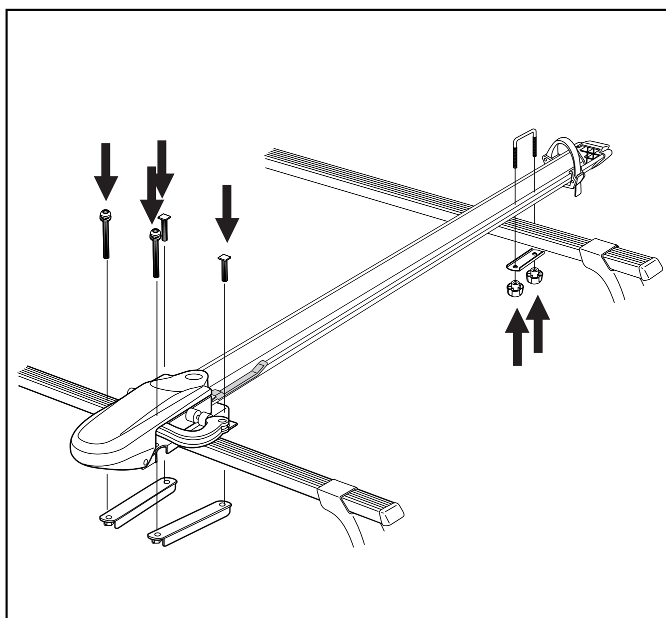
	警告事項を守らないと、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。
	注意事項を守らないと、ケガを負ったり、製品・車両・積載物が損傷するおそれがあります。
	本品を使用する上で、知っておいていただきたいことについて説明します。

必ず守ってください

本品を安全に正しくお使いいただくために、次のことがらを必ず守ってください。

 警告

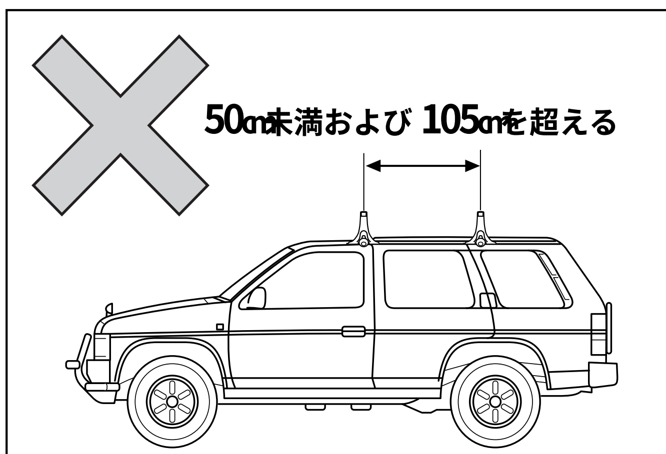
取付上および使用上の警告



走行前に必ず前後合わせて6ヶ所のノブ、ボルトを点検し、ユルミがある場合は増し締めしてください。

ノブ、ボルトにユルミがあると、走行時の風圧・振動により本品が脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。

取付上の警告

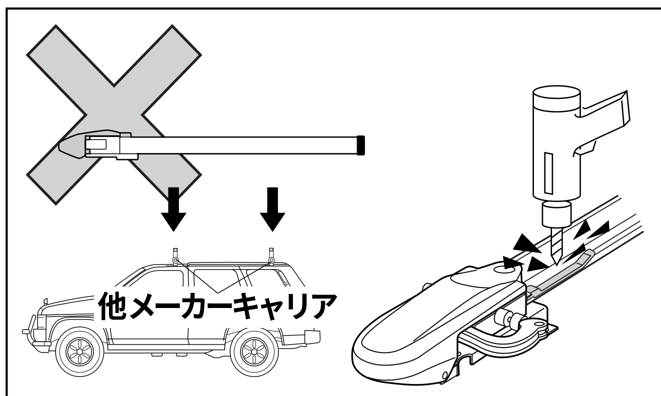


キャリアの前後間隔は、50cm～105cmの範囲内で取付けてください。

キャリアの前後間隔が指定範囲を外れた状態で取付けると、キャリアに無理な力がかかることによりキャリアやサイクルが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。

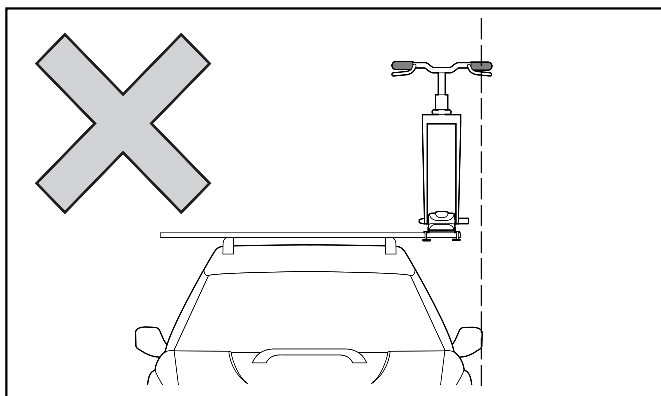
⚠ 警告

取付上の警告



他メーカーのキャリアへの取付けや、本品を改造しての使用はしないでください。

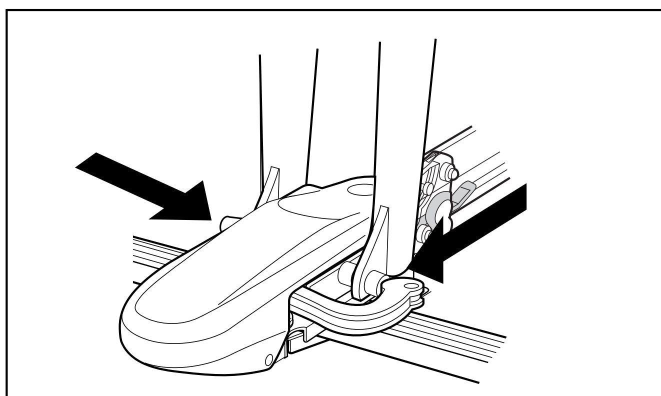
他メーカーのキャリアへの取付けや、改造して使用すると、確実な固定ができず、アタッチメントやサイクルが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



積載時にサイクルのハンドルが車幅より外に出ないようにアタッチメントを取付けてください。

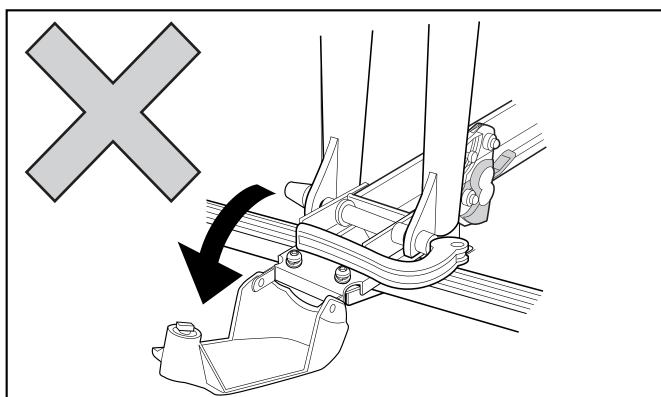
サイクルのハンドルが車幅より外に出ている状態でサイクルを積載すると、走行中にサイクルが障害物にぶつかることによりアタッチメントやサイクルが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。

使用上の警告



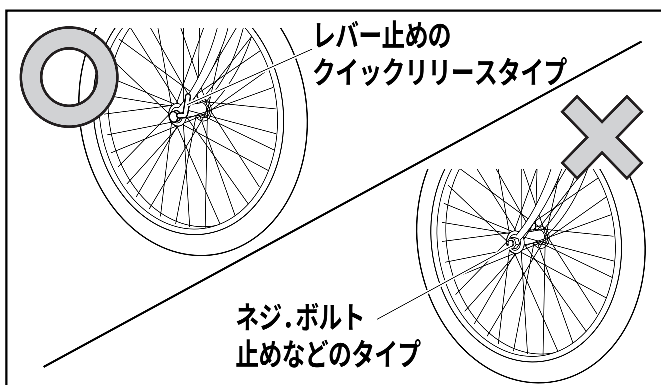
走行前に必ずフロントフォーク固定部を点検し、ユルミがある場合は増し締めしてください。

フロントフォーク固定部にユルミがあると、走行時の風圧・振動によりサイクルが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



走行前に必ずフロントカバーをキーロックしてください。

フロントカバーをキーロックしないと、走行時の風圧・振動によりフロントフォーク固定部がゆるみ、サイクルが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。

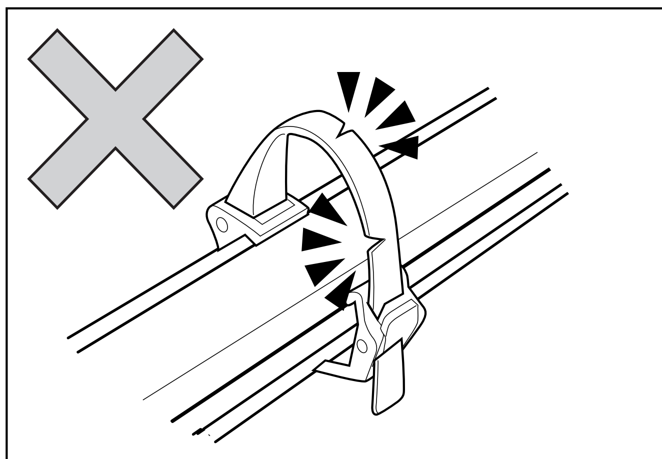


フロントフォークがクイックリリース式でないサイクルは積載しないでください。

フロントフォークがクイックリリース式でないサイクルを積載すると、十分な固定ができず、走行時の風圧・振動によりサイクルが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。

⚠ 警告

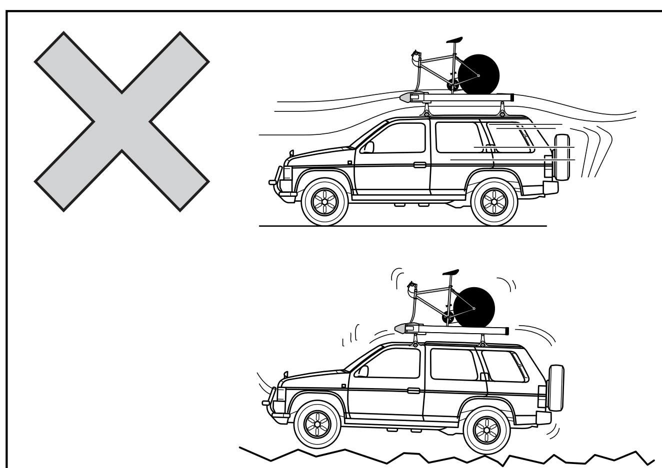
使用上の警告



ベルトに亀裂や損傷がある場合は直ちに使用を中止し、新品と交換してください。
（P.16 純正補修パーツ 参照）

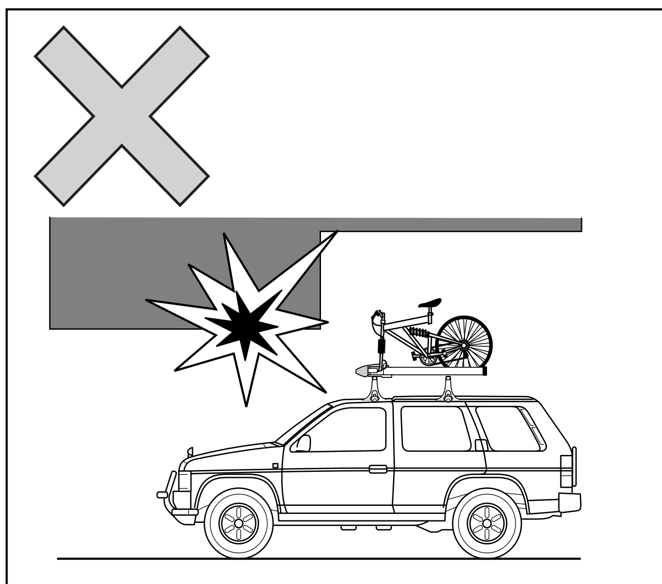
（P.16 純正補修パーツ 参照）

劣化して変色したベルトや、亀裂や損傷があるベルトを使用すると、走行時の風圧・振動によりベルトが切れてサイクルが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



法定速度を守り、強風時や、悪路では特に速度を落として走行してください。

法定速度を超えた連続高速走行や強風時の連続走行、悪路走行をすると、ノブやボルトのユルミによりアタッチメントやサイクルが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。

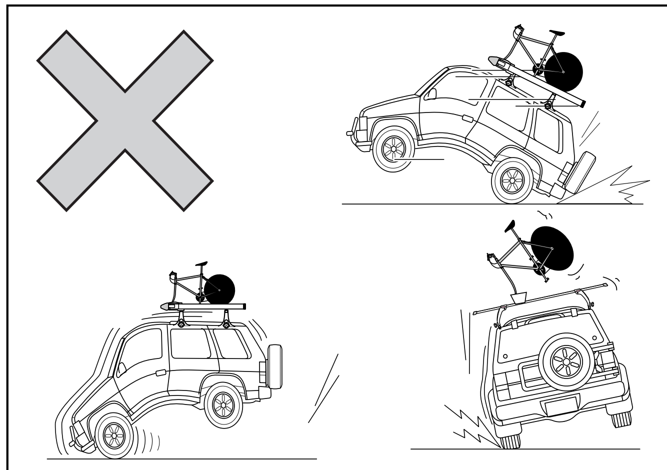


走行前に必ずサイクル積載状態での高さを把握し、その高さより低い駐車場やトンネル等には進入しないでください。

サイクル積載状態での高さより低い駐車場やトンネルなどに進入すると、サイクルがぶつかり、アタッチメントやサイクルが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。

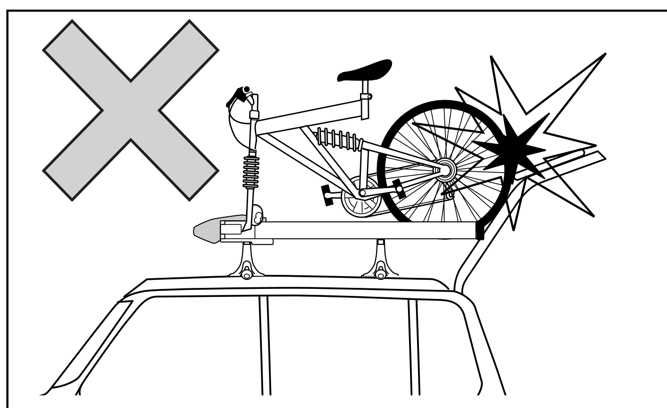
⚠ 注意

使用上の注意



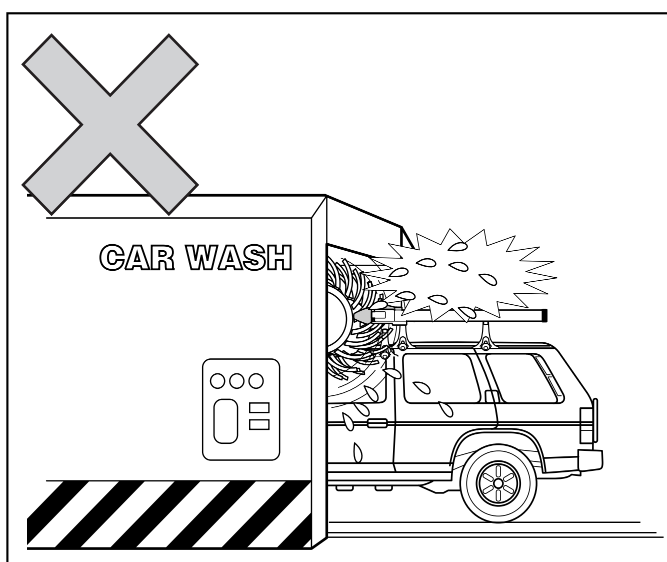
急発進、急ブレーキ、急ハンドルはなるべく避けてください。また、やむを得ず無理な走行をした場合は必ずキャリアとサイクルの取付状態を確認してください。

積載時に、急発進、急ブレーキ、急ハンドルをすると、キャリアの取付位置がずれて車両やサイクルが損傷するおそれがあります。



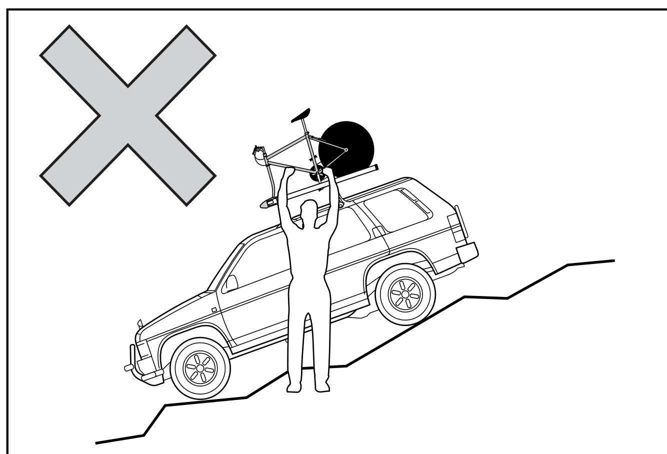
リアゲートやトランクをサイクルに当てないでください。誤って当てた場合は、必ずアタッチメントとキャリアの取付状態を確認してください。

リアゲートやトランクを開けるときにサイクルに当てると、車両やキャリアが損傷するおそれがあります。



洗車機にかけるときはキャリアを外してください。誤ってキャリアを取付けたまま洗車機にかけた場合は必ずキャリアの取付状態を確認してください。

キャリアを取付けたまま洗車機にかけると、車両やキャリアが損傷するおそれがあります。



サイクルの積み降ろしは、安定した平らな場所で行ってください。

サイクルの積み降ろしを斜面などの不安定な場所で行うと、サイクルが落ちてケガを負ったりサイクルが損傷するおそれがあります。

部品内容を確認する

本品には、次の部品が入っています。内容が正しいかどうか確認してください。
万一、不足部品がありましたら、本書記載のサービスセンターにお問合せください。

NO.	部品	数量	NO.	部品	数量
①	フレームバーAss´y	1	⑨	四角ボルト	2
②	ロック部Ass´y	1	⑩	ナット	1
③	ノブナット	2	⑪	ワッシャ	1
④	Uボルト	1	⑫	ホイールホールドベルト	1
⑤	プレート（ナット付）	2	⑬	キャップ	1
⑥	プレート（ナットなし）	1	⑭	キー	2
⑦	六角穴付ボルト（長）	2	⑮	六角レンチ	1
⑧	六角穴付ボルト（短）	1	⑯	取扱説明書（本書）	1

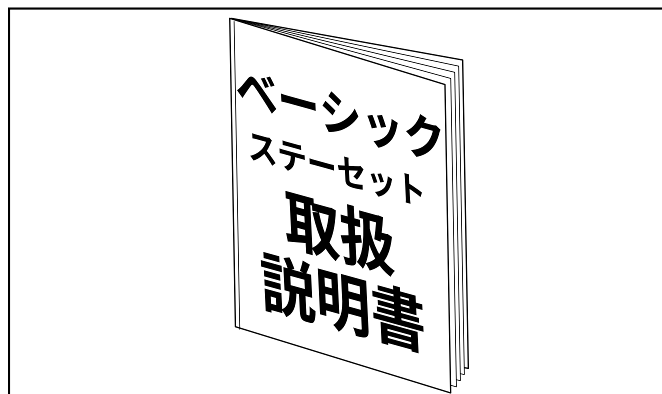
使用工具を準備する

本品の取付けには、次の工具が必要ですので、準備してください。

使用工具		数量
スパナ（10㎜）		1

取付方法

準備1　ステー・バーを車両に取付ける

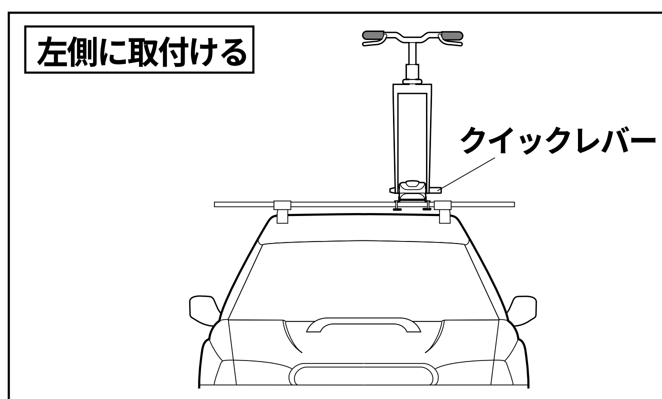


1 ステー、バーをベーシックステーセットの取扱説明書に従って正しく取付ける。

⚠警告

キャリアの前後間隔は、50㎝～105㎝の範囲内で取付けてください。

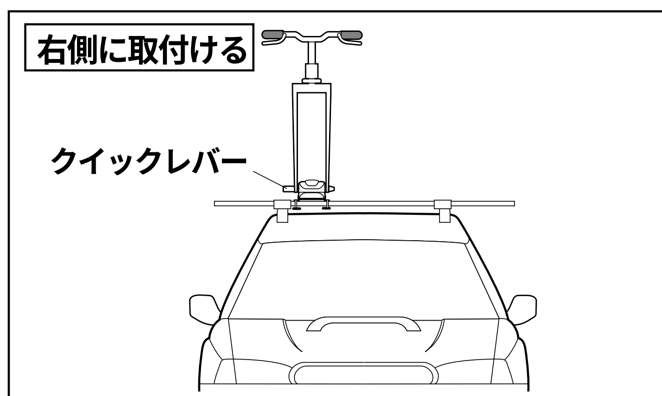
準備2　取付場所を選定する



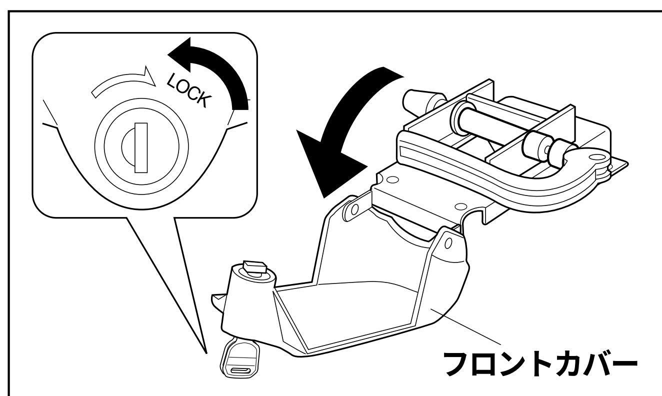
1 本品を車両の進行方向左側に積むか、右側に積むか決める。

参考

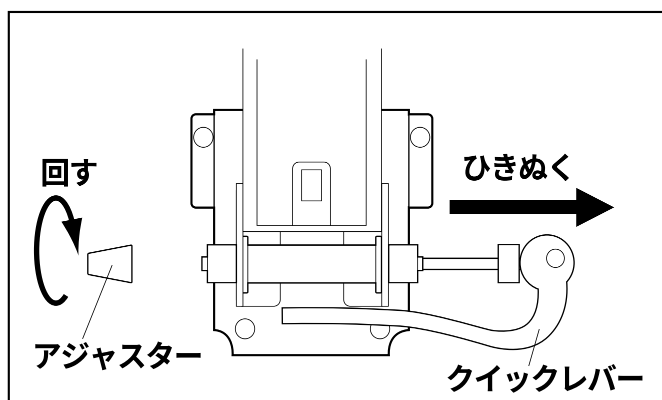
右側取付の場合、クイックレバーとホイールホールドベルトの向きを変更する必要があります。
（工場出荷時は左側取付用にセッティングされています。なお、取付1からのイラストは左側取付時のイラストとなっております。



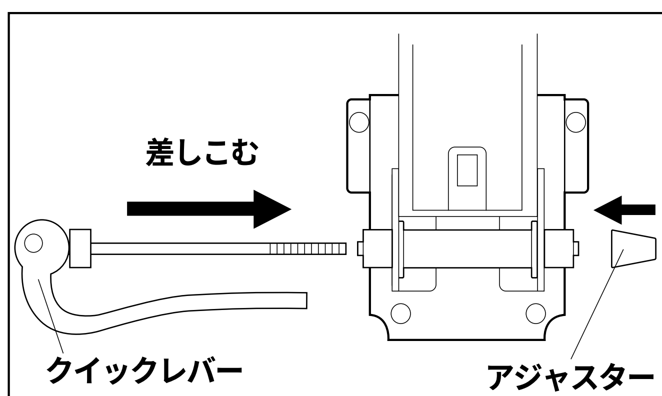
2 本品を車両の進行方向右側に積む場合は、以下の手順でクイックレバーとホイールホールドベルトの向きを変更する。



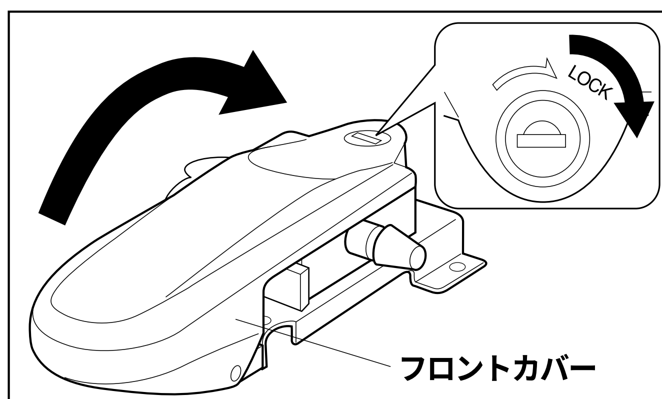
① カギ穴にキーを差込み、キーを左方向へ回し、フロントカバーを開ける。



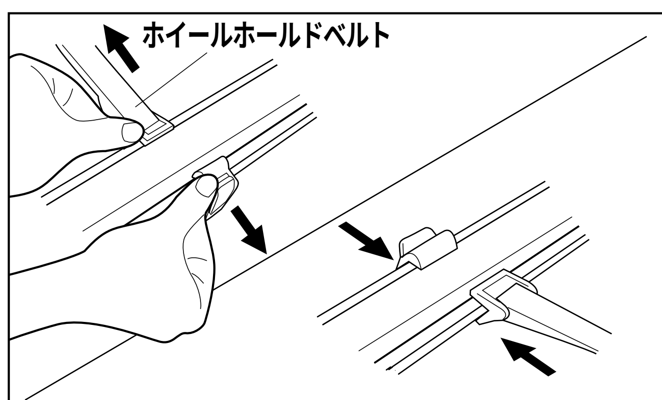
②アジャスターを回してゆるめて外し、クイックレバーを外す。



③逆側からクイックレバーを差込み、アジャスターを締める。

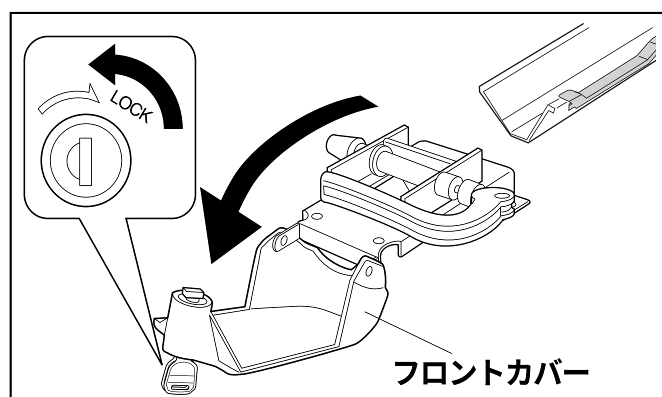


④フロントカバーを閉めて、下に押付けながらキーを「LOCK」の方向に回し、キーを抜く。

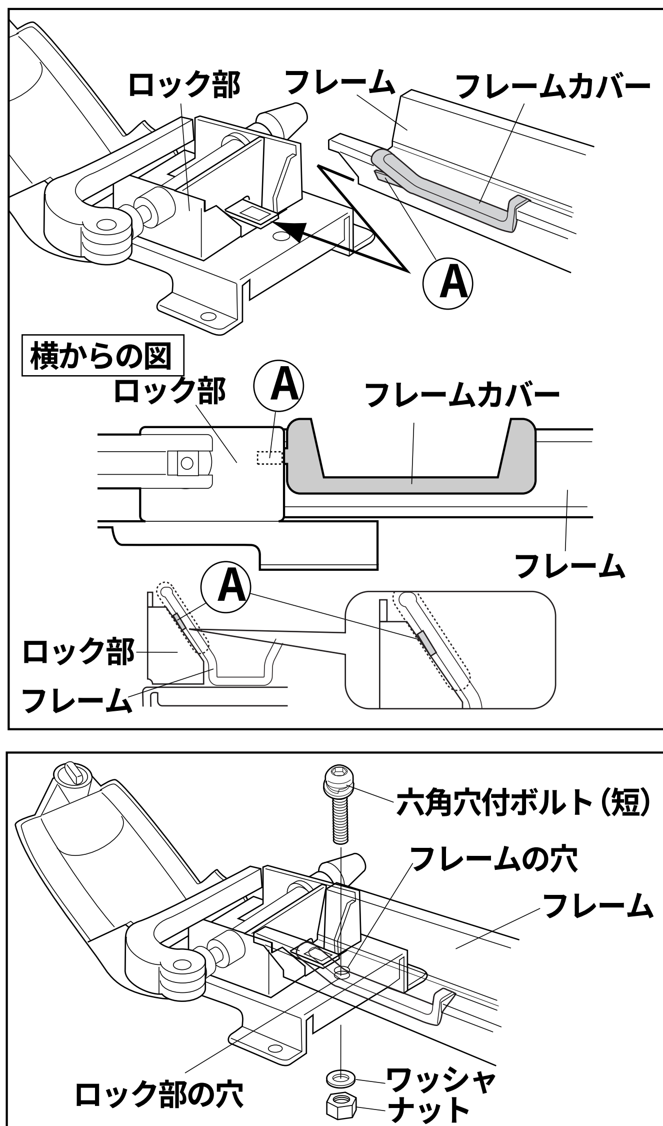


⑤ホイールホールベルトを広げながら外し、逆向きに再度はめ込む。

準備 2 ロック部にフレームを取付ける



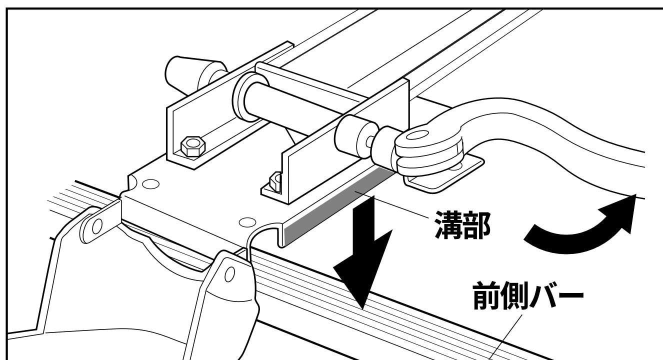
1 カギ穴にキーを差込み、キーを左方向へ回し、フロントカバーを開ける。



2 ロック部のV型の溝にフレームを差込む。

⚠注意

●フレームカバー先端部の凸部 Ⓐ はロック部V型　の溝とフレームの間にはさまります。



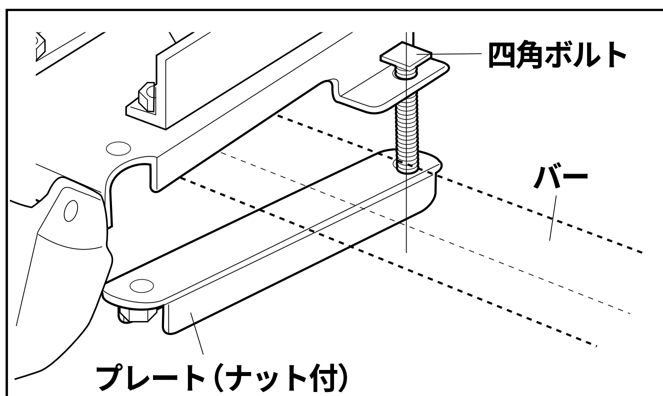
3 ロック部の穴とフレームの穴を合わせて、六角穴付ボルト（短）とワッシャ、ナットでしっかりと固定する。

使用工具　・六角レンチ（付属）
・スパナ（10mm）

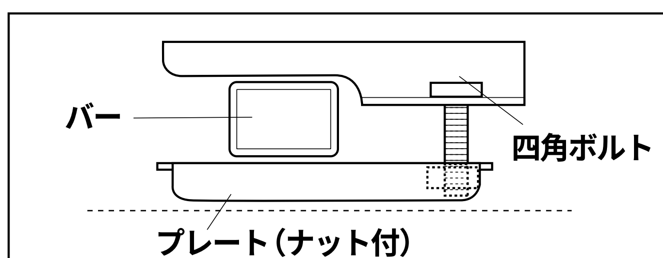
参考

●ナットは平らな面を上にして取付けてください。

取付 1 本品をバーに取付ける



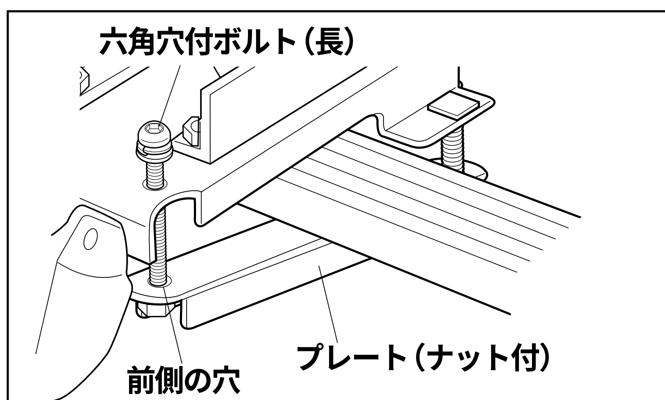
1 前側バーにロック部の溝部を載せ、クイックレバーを手前に引いて解除する。



2 プレート（ナット付）をバーの下側から当てて、四角ボルトをプレート（ナット付）の後側の穴に入れ、プレート（ナット付）とバーが平行になるように四角ボルトを回して調整する。

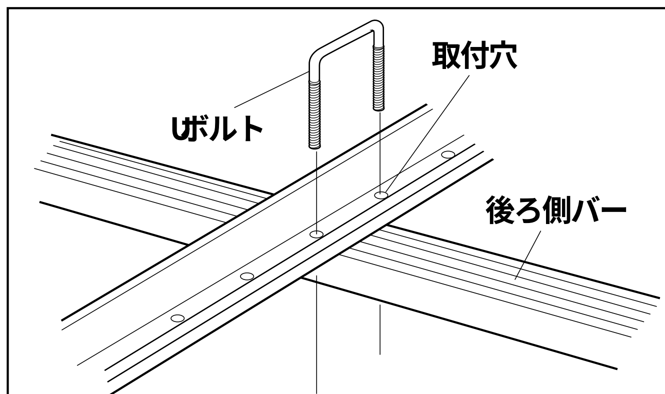
参考

プレート（ナット付）とバーが平行になるように調整してください。



3 六角穴付ボルト（長）をプレート（ナット付）の前側の穴に入れ、仮止めする。

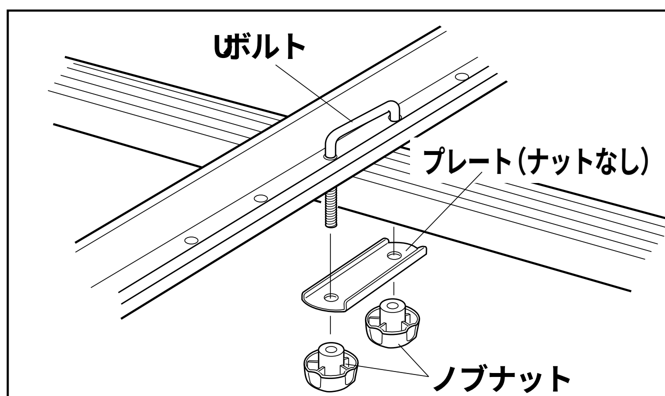
使用工具 ・六角レンチ（付属）



4 後ろ側バーと合うフレームの取付穴に、Uボルトを上から入れる。

参考

フレームの取付穴とバーが合わない場合は、本体を少しずらして合わせてください。

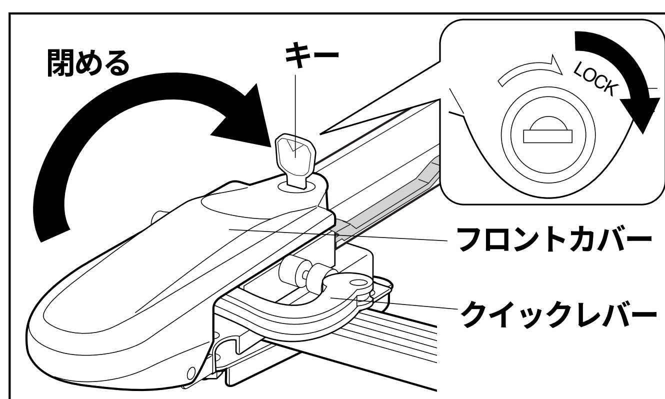


5 Uボルトに、バーの下からプレート（ナットなし）、ノブナットの順に入れ、ノブナットをしっかりと締め付ける。

参考

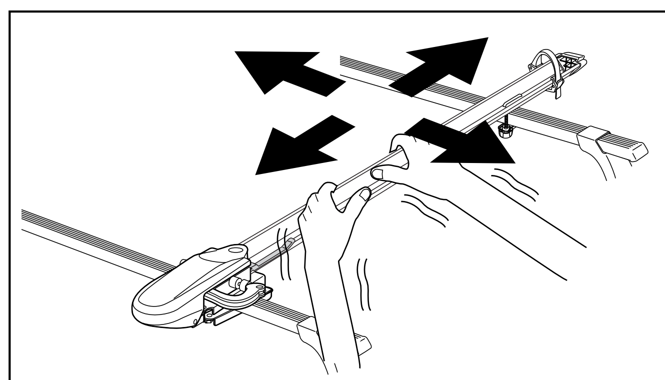
プレート（ナットなし）は出っ張っている側を上にしてください。

6 3で仮止めした六角穴付ボルト（長）をしっかりと締め付け、固定する。



7 クイックレバーを収納し、フロントカバーを閉めて、下に押付けながらキーを「LOCK」の方向に回し、キーを抜く。

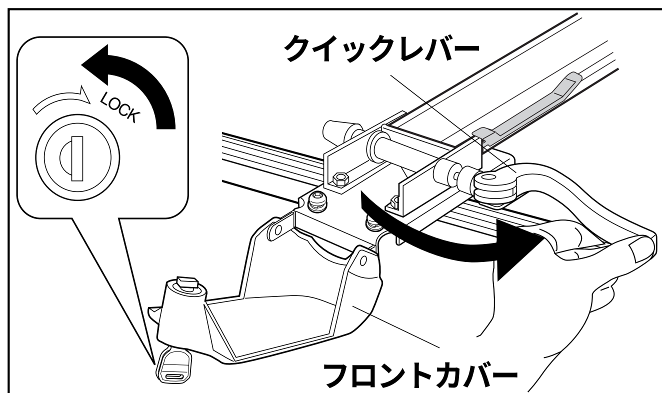
取付 2 取付後の確認をする



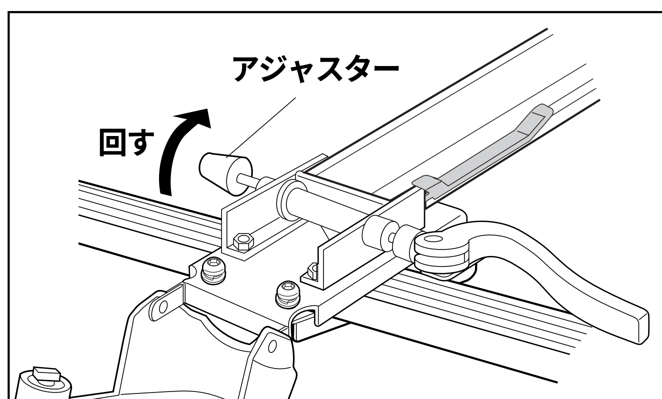
1 本体を前後・左右・上下にゆすり、確実に固定されているか確認する。
ユルミがある場合は再度増し締めする。

使用方法

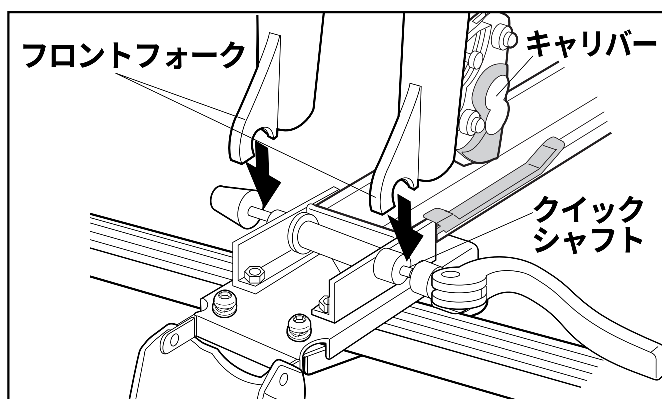
使用 1　サイクルを積載する



1 ●カギ穴にキーを差込み、キーを左方向へ回し、フロントカバーを開ける。
●クイックレバーを手前に引き、ロックを解除する。



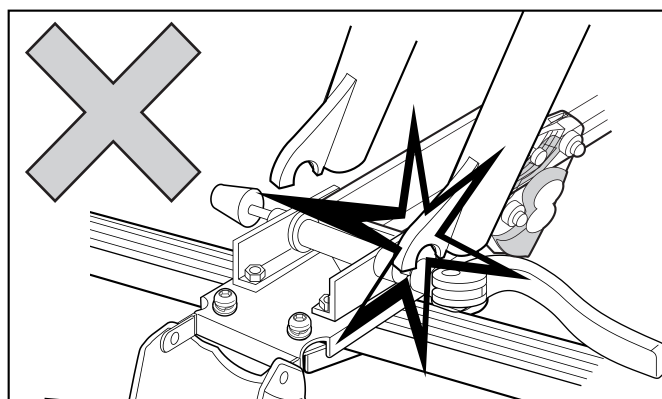
2 アジャスターを外れない程度に回し、ゆるめる。



3 サイクルのフロントフォークの先端をクイックシャフトの凹部に差込む。

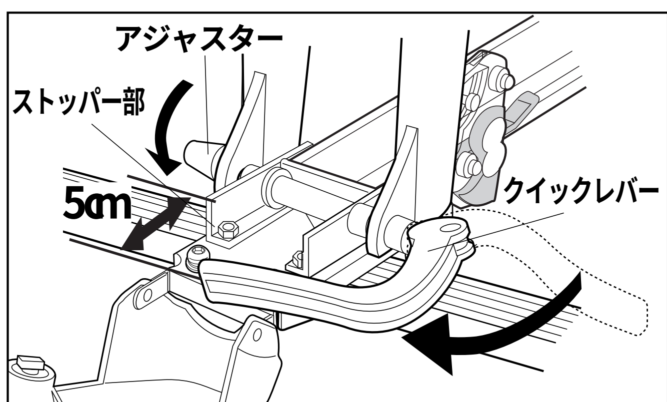
⚠警告

サイクルを積載する際は、収納ケースや防水用カバーなどを使用しないでください。

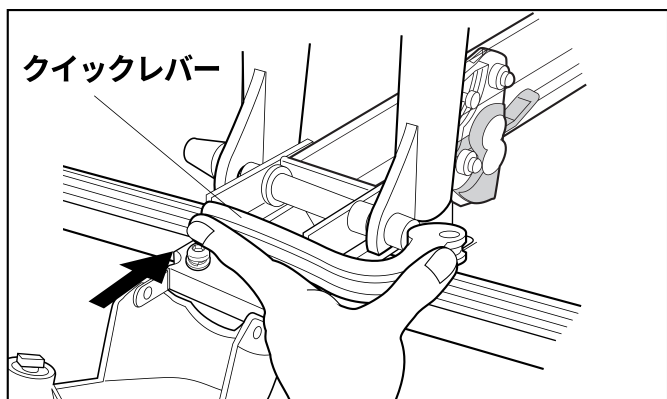


⚠注意

サイクルを積載する際は、フロントフォーク部をまっすぐ差すように積載してください。また、積載後に風などにより倒れないよう、サイクルを押さえておいてください。手前からななめに差すように積載したり、倒れたりすると、アタッチメントが変形、損傷するおそれがあります。



4 クイックレバーとストッパー部の間隔が5cmくらいになるようにクイックレバーを閉め、その状態でアジャスターを回してしっかりと締め込む。



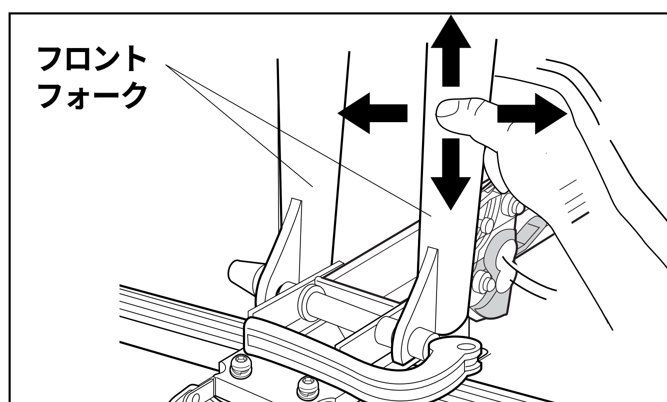
5 クイックレバーをストッパー部に当たるまでしっかりと閉める。

参考

クイックレバーが固くて閉まらない場合はアジャスターを少しゆるめて調整してください。逆にゆるい場合は、アジャスターをさらに締め込み調整してください。

●簡単クイックレバー方式

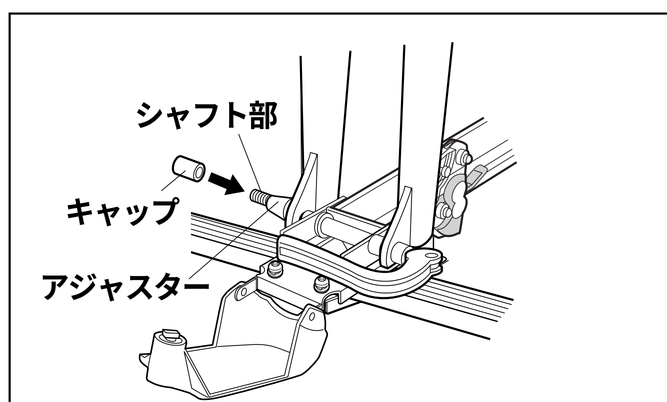
次回から同じサイクルを積載する場合は、アジャスターの調整は必要ありません。クイックレバーの開け閉めのみでサイクルの積載ができます。



6 フロントフォークがしっかりと固定されているか、サイクルのフロントフォーク部をゆすって確認する。ゆるい場合は増し締めする。

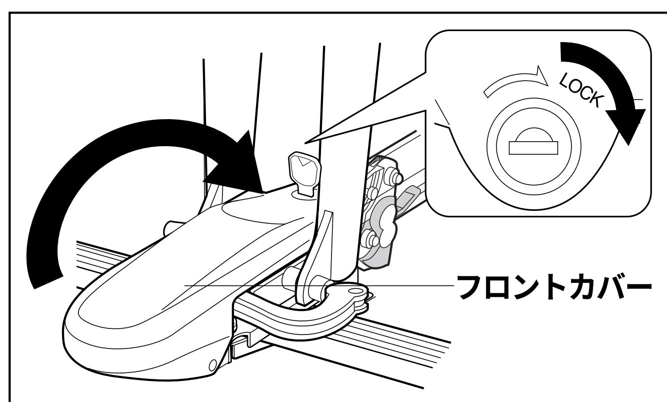
注意

サイクルの積載毎に必ず確認してください。

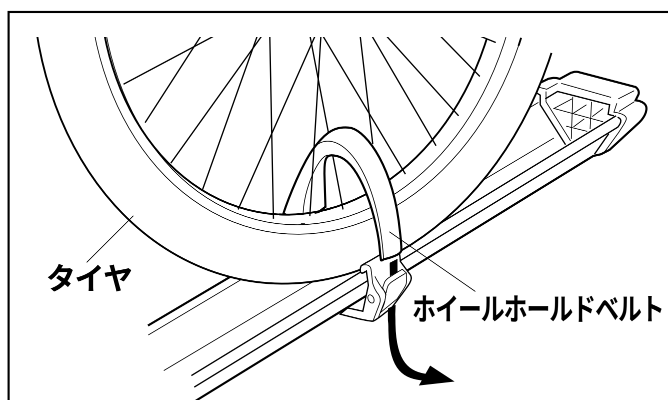


参考

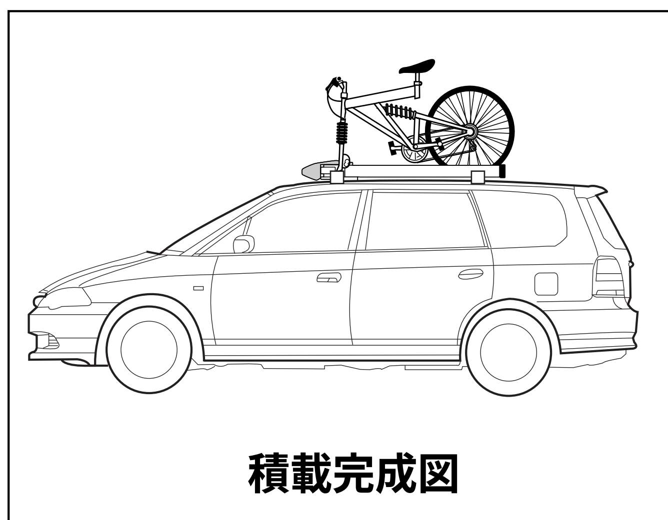
アジャスターの端からシャフト部が出る場合は、付属のキャップをシャフト部にかぶせてください。



7 フロントカバーを閉めて、下に押付けながらキーを「LOCK」の方向に回し、キーを抜く。



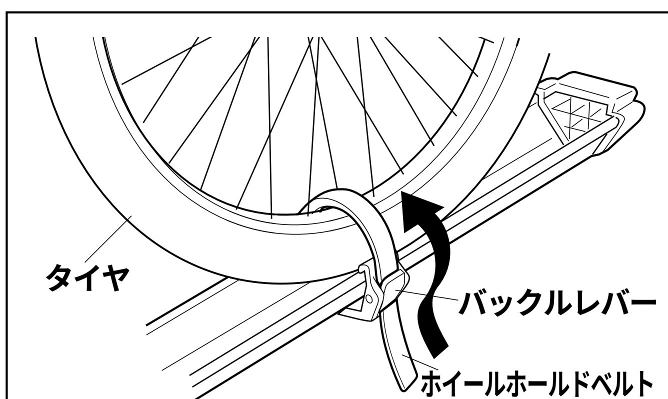
8 ホイールホールドベルトをリアタイヤの中心まで移動させ、しっかりと締め付ける。



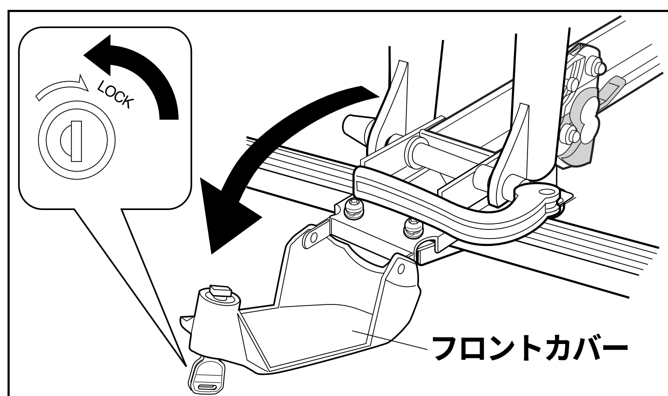
使用2 走行する

走行する際は、必ずP.2～5の使用上の警告事項と注意事項を守ってください。

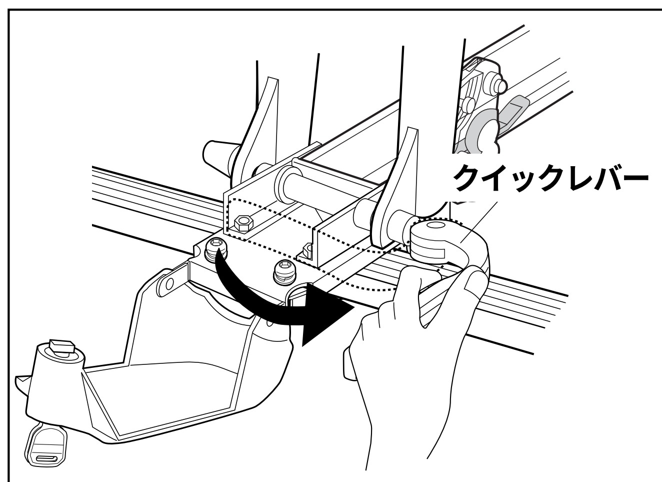
使用3 サイクルを降ろす



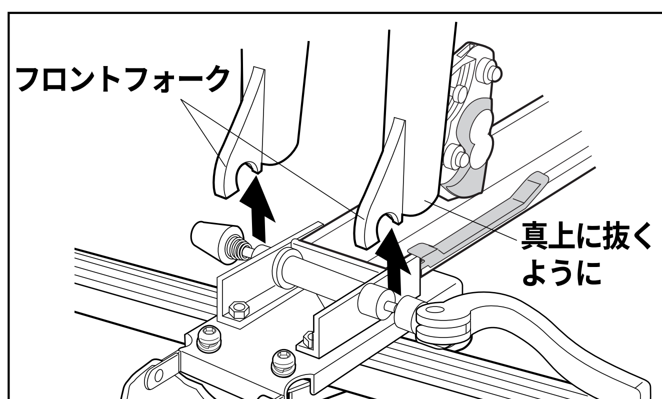
1 バックルレバーを押しながらホイールホールドベルトを外す。



2 カギ穴にキーを差込み、キーを左方向へ回し、フロントカバーを開ける。



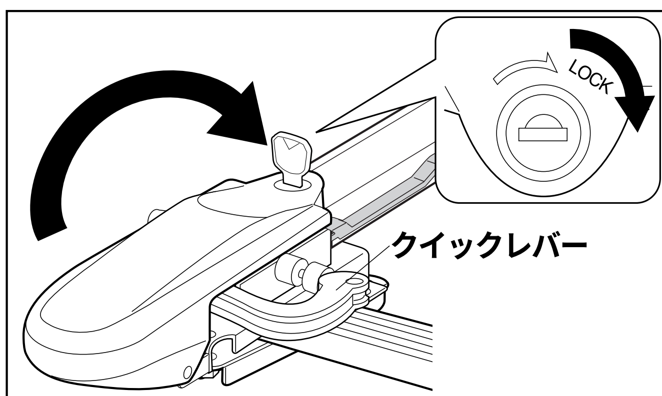
3 クイックレバーを手前に引いてロックを解除する。



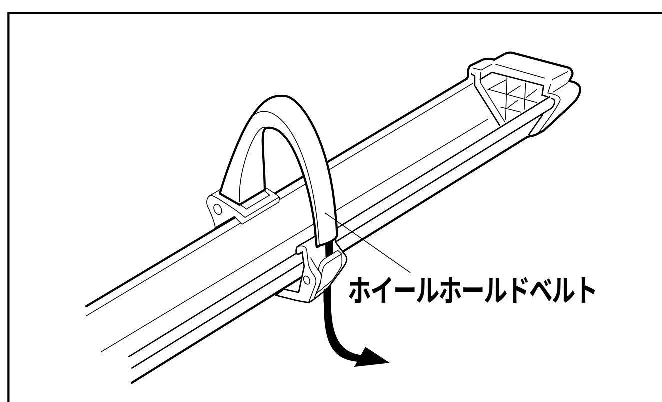
4 サイクルを降ろす。



●サイクルの積み降ろしは、安定した平らな場所で行ってください。
●サイクルを降ろす際は、フロントフォーク部を真上に抜くように降ろしてください。手前に倒すように降ろすと、アタッチメントが変形、損傷するおそれがあります。



5 クイックレバーを収納し、フロントカバーを閉めて、下に押付けながらキーを「LOCK」の方向に回し、キーを抜く。



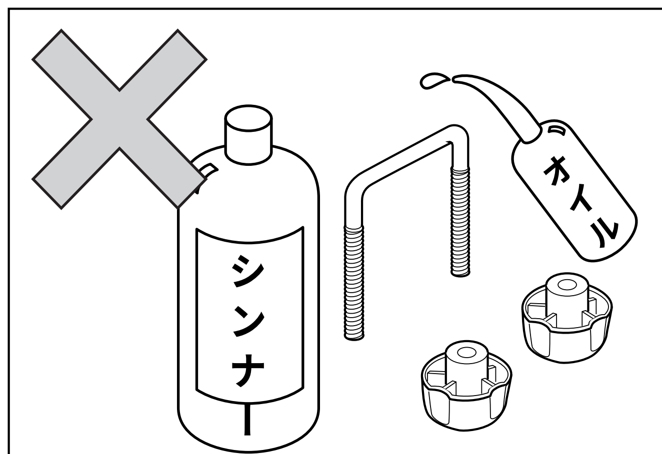
6 ホイールホールドベルトを軽く締め、収納する。

日常のお手入れ

1 水で泥汚れを落とす。

2 水を含ませ固く絞ったタオルで汚れを取除く。

3 日陰でよく乾燥させる。

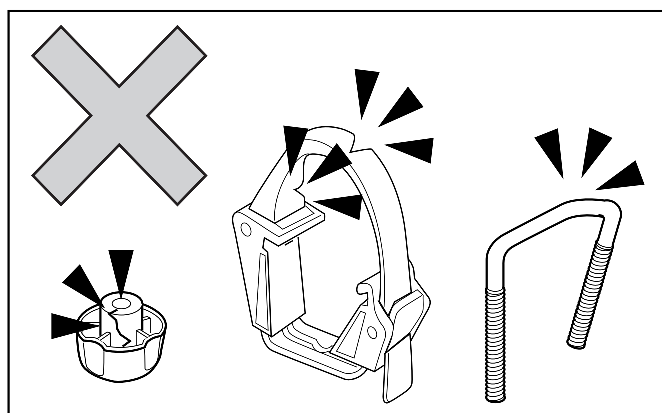


⚠注意

●洗車機にかけるときはキャリアを外してください。誤ってキャリアを取付けたまま洗車機にかけた場合は必ずキャリアの取付状態を確認してください。
●シンナーなどの溶剤を使用しないでください。
●ネジやボルトへの給油はしないでください。

保管方法

各部の点検をする

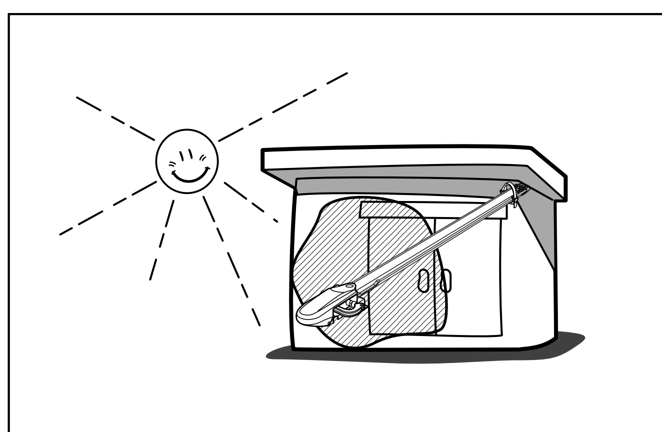


1 本品を清掃し、各部に異常がないかを点検する。変形、破損が見られた場合はご使用をやめ、交換してください。

⚠警告

ベルトに亀裂や損傷がある場合は直ちに使用を中止し、新品と交換してください。
（P.16 純正補修パーツ 参照）

本品を保管する



1 直射日光の当たらない乾燥した屋内に本品を保管する。

参考

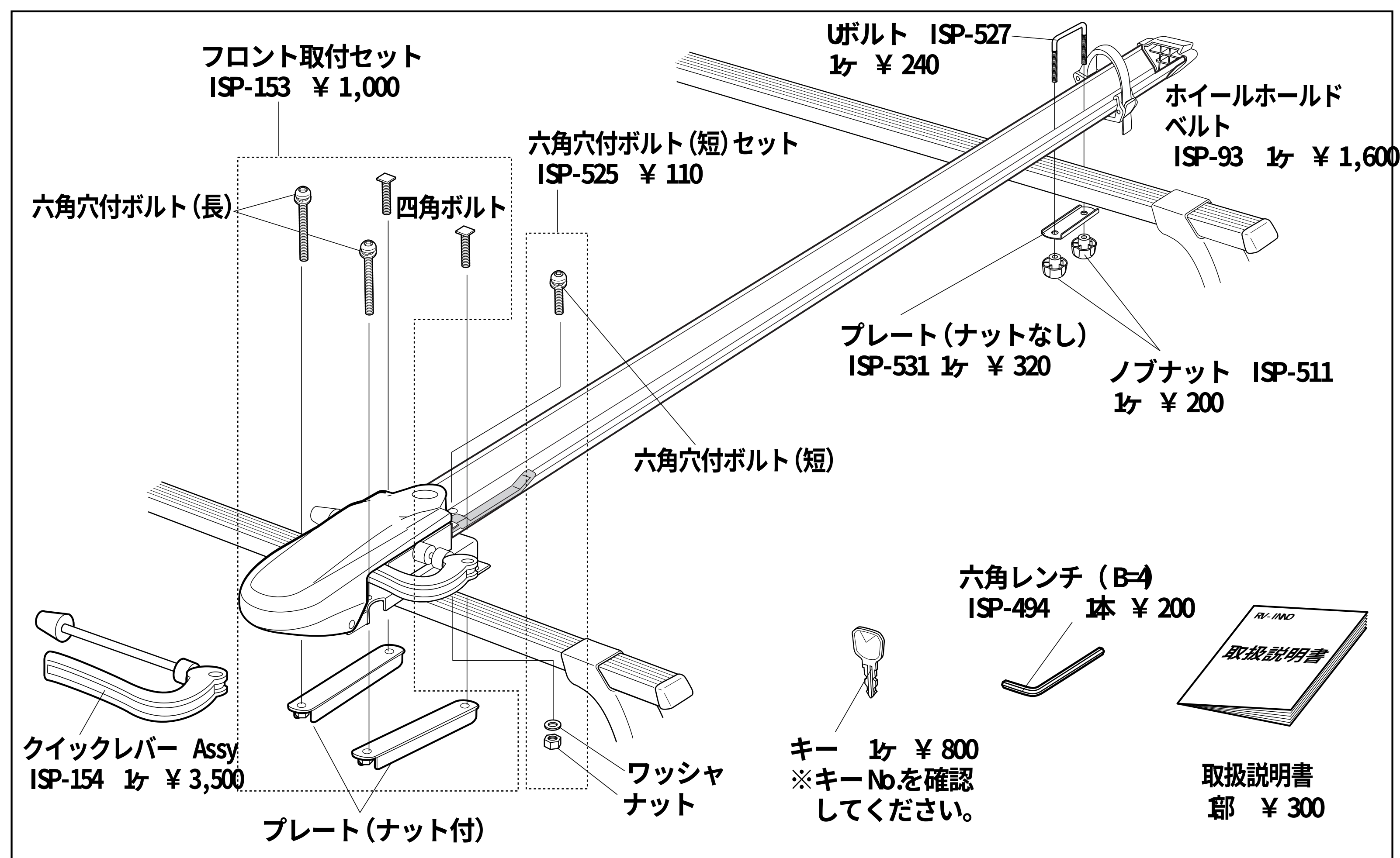
キャリアを使用しないときは、雨や紫外線などによるサビや劣化などを防ぐために、車両から外して保管してください。

純正補修パーツのご案内

本品には下記の純正補修パーツがあります。お求めの際は、キャリアを購入された販売店にパーツ№またはパーツ名を指定してご注文ください。

参考

- 本書に記載する価格には消費税は含まれておりません。
- 本品及び純正補修パーツの仕様と外観は改良のため予告なく変更することがあります。



株式会社カーメイト

この取扱説明書は環境保全のため再生紙を使用しております。